

## 公開講座

### 令和4年度 看護学部いのちの講座シリーズ公開講座 (学長裁量経費対象事業) 報告 テーマ：～いのちを育む～

教育課程委員会

講師：中国労災病院 院長 栗栖 香先生

日時：令和4年10月15日(土)

音楽演奏 13:20～13:50 広島文化学園大学学芸学部音楽学科

公開講座 14:00～15:40

場所：呉信用金庫ホール（呉市文化ホール）

主催：広島文化学園大学看護学部、共催：呉市

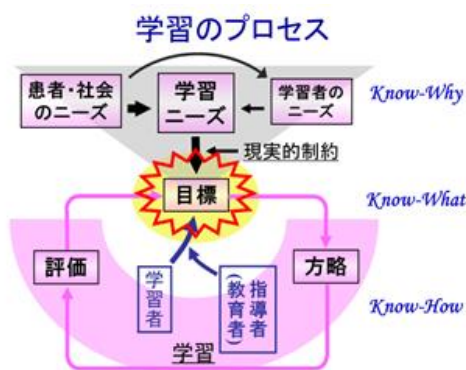
参加者：一般78名、学生285名、教職員20名、合計383名

本学の教育理念のもと教育の一環として毎年開催し地域貢献として住民も対象としている。コロナウイルス感染拡大の対応が変わり、感染防止を徹底し換気をしたうえでの開催となった。

いのちの概念とその誕生、いのちを育むという意味での教育、人材育成などについて、講演された。脳の働きから見た教育、人間の能力にはタレントとキャパシティがあり、能力獲得のためには幅広い知識が求められること、色々なことに興味を持ち、体験することの大切さを再確認することができた。

該当科目は1年成人看護学概論、2年看護統合セミナーⅡ、3年看護統合セミナーⅢ、4年看護統合セミナーⅣとした。実施後アンケート調査により評価した。

※当日の資料を一部抜粋



#### 教育とは？

学習者の行動に**価値のある変化**  
をもたらすプロセス

学習者は学習によって、より望ましい  
状態に変化(**行動変容**)する。

**教育とは能力開発を目指すこと！**

#### 能力には2種類あり

・タレントtalent  
→(一芸に)秀でた能力  
=専門的、狭く深い  
専門教育

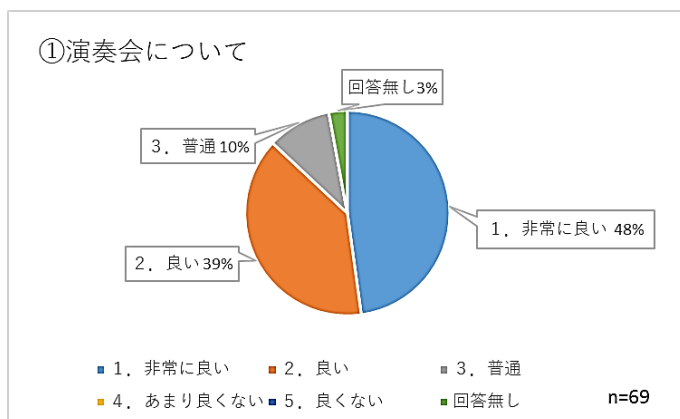
・キャパシティcapacity  
→収容能力  
=広い理解、享受、対応  
教養教育

## アンケート結果（一般）

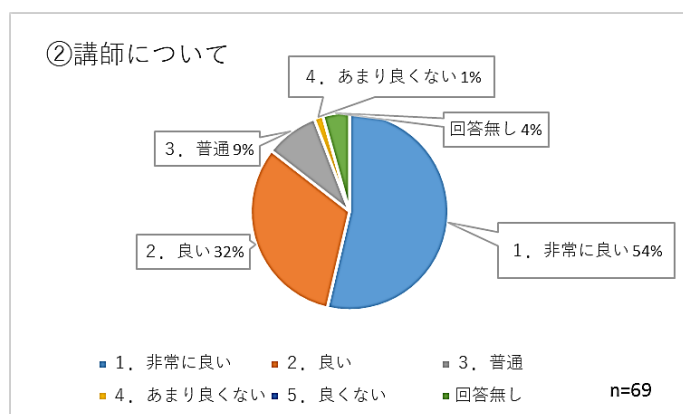
### 1. アンケートについて

1) 79 名参加あり 69 名回答を得られた（回収率 87%）

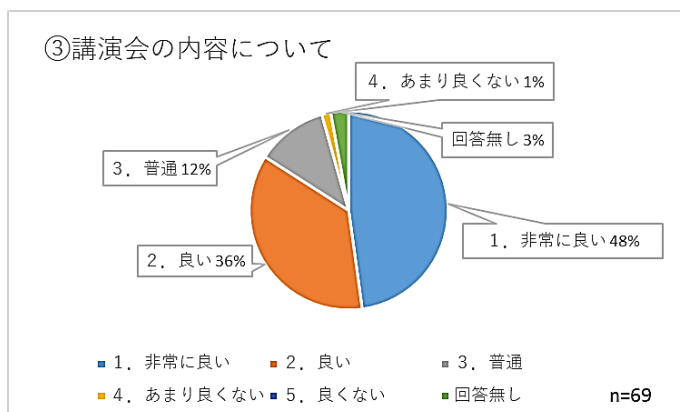
### 2) ①演奏会について



### 3) ②講師について



### 4) ③講演会の内容について



### 5) ④「公開講座でのお気づきの点がありましたか。」について

・演奏会にアニメの曲を加えて欲しい。とても楽しかった。

- ・学生、医療関係者には良い勉強だと思った。一般の高齢者には難しかった。
- ・スライドの字が大きくて見やすかった。難しい話ばかりではなく、わかりやすく興味深い話もあったのでよかった。命の話だと思っていたので少し違った。
- ・コロナ禍で、久しぶりの生演奏をありがとう。講演会の前半はよく分かったけど、後半は学生に分かる話だった。
- ・素敵な歌声に感動した。短時間でたくさんのお話をありがとう。
- ・内容に関する資料が欲しい。
- ・世界の一人ひとり、いのちを大切にすることはコミュニケーションを通じて一人一人を尊重する心が大切。栗栖先生、ありがとう。
- ・客席の人が程よい入りだった。プロフィールの前の独唱がよかった。PNP、1分間の教育が心に残った。
- ・少し難しすぎた。専門的で堅苦しく、言葉ばかりが先行しているように思えた。
- ・学生の授業のようだった。生命の成り立ちも大切だが、声明を維持することを伺いたかった。来場者の年齢に合わせた興味のある話題にしてほしい。
- ・原始生命、面白かった。
- ・栗栖先生の歌声がとても素晴らしく幸せをいただいた。一般市民にも理解しやすくよかった。
- ・コミュニケーションが大切、人生を目標を立て行動していきたいと思った。
- ・最初は少しわかりにくかったが、学ぶこと、教育することに対して理解を深めることができた。今後の生活に生かしたい。
- ・学生に向けての講演会だったので、外国語が多くて70代の私にはすぐ理解できない点があった。具体的目標を設定するというのが、一番心に残った。
- ・もう少しわかりやすく、大学で講義を受けているようだった。
- ・オープニングの甘い声に感動！「いのちを育む」のテーマ導入に最高だった。教育の基本を再認識した。内容的にはやや難しく多数の方が居眠り状態だった。事例があり、より理解できる点もあった。ヒーローモデルを頑張ろうと思う。
- ・教育に対する考えが理解できました。
- ・幅広い年代層に聞けた内容に感動しました。
- ・高度すぎた。理解できないところが多くあった。
- ・演奏会は心安らかなひと時だった。講演会はわからない用語が出てきたので少し難しかった。後半は頭に入ってきた。
- ・内容が少し高度で理解にとまどいがあった。気づきの多い話だった。
- ・現役教員時代に聞かせてもらったらよかったと思う内容だった。教員研修会で講演して暴言教師モラル低下の教員を再教育してほしい。
- ・一般人にとっては少し難しい内容だったが、奥深いものがあった。人の生存の基本にかかわる内容だった。手術の具体例などの話も聞きたかった。
- ・型破りのオープニングが面白い。発想を深めるヒントをいただき感謝している。

・「いのちを育む」という演題と講演内容を結び付けてとらえることができよかった。教育学部の生徒を対象に講義されている印象を受けた。せっかくの公開講座なので一般市民にも共感できる内容にしてほしかった。

・スライドの字が小さいのが残念だった。

・良い勉強になった。

・映像がわかりにくかった。内容は興味あるものだった。

・難しすぎた。

・学生でしか聴けない内容でとても勉強になった。脳の3分の1がアウトプット、インは3分の2に驚き学習の大切さを改めて感じた。年配の女性二人、演奏にとっても感激していた。若い生演奏にふれることがないのでとてもよかった。

#### 6) 今後希望する講座について

・食生活や人づきあい

・ウォーキング講座（ポールをもって歩く、ノルディックウォーキング）

・看取り士養成講座について

・人生について

・体操、タンパク質のことなど（なかなか筋肉がつかないので）

・認知症について

・がん患者との接し方、発症後の生活で必要なこと

・健康について

・社会情勢に合わせた講座

・肥満、糖尿病などの生活習慣病について

・感染症（コロナ）関連、がん関連、歯周病関連

・家族（子ども）がいない終末期の公的ヘルパーに看取られ死ぬ場合の事例について

・高齢者にかかわるとは（地域の若者と高齢者がかかわり高齢者の生き様をきいてもらう）

#### 7) その他

・講演前の演奏会はとてもよかった

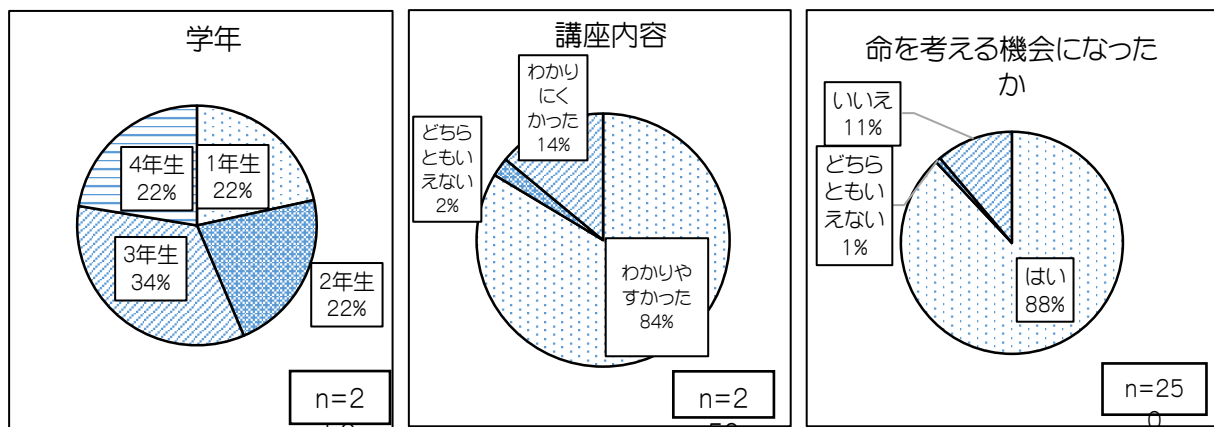
・館内の空調が寒かった

・市民の参加が少なかった、PRが足りない

・照明が暗すぎてメモがとれない

## アンケート結果（学生）

学生：250 名 回収率 88%



命について考える機会となった、または考えることができなかった理由を教えてください（一部抜粋）

- ・ふだんあまり意識せず様々な情報を入手してきたなかで、いのちについて多面的に考えるよい機会となったため
- ・生命は色々な形で存在していることが分かった
- ・相互尊重をして生きていくことが大事
- ・看護師になる者として参考になる貴重なお話だったから
- ・脳はすごいと思った
- ・命の単位や大切さ、その命を育てることの重要性について栗栖先生の経験から得た話を聞いたから
- ・人が命を繋いでいく、後世の人たちを育てていくために何が必要なのか、必要な考え方とはなにかを知ることが出来た
- ・命とは何なのかという、根本的な内容からの講演で、段階を踏んで考えやすかった
- ・生きていることは当たり前ではないと感じた。
- ・命には色々な意味があり、あまり考える機会はないが、1 番身近にあるもので誰もが持っているものなので世界共通のものであることが分かった。
- ・講座内容の中には教育方法についてなど何がいのちを育むということに繋がっているのか理解が難しいものもあって全てを理解できたわけではないが、コミュニケーションの項目や hag（ハグ）組む→はぐくむ→育むとダジャレを交えて分かりやすくお話して下った内容では、いのちについて考える機会となった。例えばダジャレのところでは、ハグがいのちを育むことに繋がることを表している。母性看護学で「早期母子接触」の重要性を学んだようにハグ（触れ合う）ことがいのちに繋がっているんだろうなと感じた。ドラマなどでも意識がない人の手を握って声をかけると目を覚ますようなシーンがあるように物理的に人が繋がる（触れ合う）ということもいのちに繋がっているんだなと自分の中で連想しながら考えることができたので、いのちについて考える機会となった。
- ・RUMBA という目標設定から達成までの計画を立てることで命についてとても関連して考えることが出来ました

- ・看護師としての心持ちに対する考えをつくることに繋がった
- ・育むことは、養い育てる、いつくしむ、庇い守るなど、人が成長し、生きていくために、1 人では生きていけないということから、命について考えることができた
- ・先生が世界的に取り組みを行っており、自分自身も命の大切さを改めて考えることが大切だと感じた
- ・いろいろな人たちに支えられているなど感じた
- ・もっと命を大事にしようと思った。
- ・今回の講座を聞いて命の大切さについて改めて考えることが出来た。現在の医療は進歩しており、機会を導入していることも知った。
- ・脳が体にとって重要な機能を持っていることを改めて知ることができた
- ・学び続けることが自分や人の命を考えていく上で大切であることがわかった
- ・こんなにしっかり命のことを考える機会というのがなかったので、お話を聞いて命って大切にしなければならぬと改めて考えさせられたから
- ・いのちを大切にしようと思うから。
- ・命の誕生を聞いて今の命に繋がっている事がわかった。また自分でも考えてみたいと思った
- ・生命の起源や教育について学ぶことができ、自分には無い視点から命について考えることができた
- ・いのちを育むには、食育、教育、心身ともに健康な生活を営むために必要不可欠であると聞き、自分がいのちを育むことができ、心身ともに健康なのは両親のおかげであると改めて感じる事が出来、命の大切さを知ることが出来た
- ・現在、領域実習を行っておりより命について考える機会になったから
- ・命はとても尊いことだと改めて知ることができたため
- ・人間は自然と寄り添い合いながら命をもらって守られていることが理解できたから
- ・話を聞いているうちに人生について考え、今ある自分の命は色々な人に育ててもらっているんだなと思った
- ・教えることは学ぶことであり、教える側も学びを深めることができるということがあった
- ・命は素晴らしいことで生きてることは大切なんだと改めて実感できました
- ・命を育むと言うことに教育が深く関係していることがよくわかった
- ・命を育むためにはわかりやすい学習指導が必要であるということがわかった
- ・強く育て(成長して)いくために、希望・自己効力感・楽観性・レジリエンスが大切であると知り、今後も意識していこうと思ったから
- ・人材を教育することで、より高度な医療や看護を提供することができる。今後看護師になる身として今回の講座は教育を経て命について考えるとても貴重な機会となった
- ・少し難しかったですが、命の大切さについて自分で考えを改める機会になりました
- ・命とは、育むとはということを根本から教えていただきわかりやすかったです
- ・生きていく中で相互尊敬が大切だとわかったから
- ・人間のいのちは儚いと思った。細胞が個体、個体が集団になる。人間は細胞一つがだめになるだけでもいのちがなくなる可能性があるのかと思った
- ・命は、細胞から個体まで、個体から集団まで。はぐくむ、育てる、育つということがわかった
- ・命とは単に生命という意味を持っているだけでなく成長していく段階も関係しているということが分かった

たから。今までは深く命について考えることがなかったけれど、今回講座を受けて命について深く考えることができた

- ・人は自然の1部ととらえることから、大切にしないといけないということがわかった
- ・命があるから色々なことを学ぶことができてくるから
- ・人間関係、育てる、教育などの言葉から合わせて人として成長をしていけるようにするというものを感じた
- ・自分は今後の人生に活かせる内容だと感じたからです。特にコミュニケーションを基盤にしておくことは相互の尊敬に繋がったりするので、挨拶や会話などを大事にしようも思ったからです
- ・自分が生きるだけでなく次世代の育成、次の命にもつなげていかなければならないとわかった
- ・命の意味を改めて知ることができ、命とは人生や一生であるため、大切にしなければいけないと感じることができました
- ・生命の誕生の原点やコミュニケーションがどれだけ必要となり大切となるのかが分かりました
- ・命を次世代に繋げていくことが大切であると感じたから
- ・しってる(知識)での想起→解釈→問題解決は、看護においても命においても最も重要なことで考えていかなければいけないことだと思いました
- ・色々な説があって、人間の生命、生き物全部が生まれたのは奇跡なんだなと思ったから考えるきっかけとなった
- ・人間は自然の一部であり、自然への畏敬をもって生活することを学び、生物や生命を考えることができました
- ・この世に生まれてきて、命をもってこの世に生きる事が、とても素晴らしい事と同時にとても難しい事なんだなと思いました
- ・まずはリスペクトすることからって考え方がとても良いと思いました
- ・たくさんの方がいる中で人が育むことで人間は生きていけると言っていたため
- ・命は一言では表せないような言葉だと知った
- ・育む、Life、一つの言葉で様々な読み方があることや意味を持つことを知り、命にもさまざまな意味が込められている。命からさまざまな視点に繋げて考えることが出来た
- ・"死"というものが、あまり身近に感じられず命というものが理解することができませんでした。でも、先生の授業を聞いてもう少し自分で調べてみようかなと思えました
- ・命について母と子の関係から考えることができた
- ・今回の公演を聴いて、普通に産まれてくるのがどれほど凄いことなのか考えた

#### 聴講しての感想や学び（一部抜粋）

- ・いのちに関しての考え方や日常生活の中で、どのように向き合う事でこれからの時代にむけて過ごすことが出来るか。考えることができた
- ・いのちには色々な種類があり、育むという言葉にも沢山の意味があることが分かった
- ・歌を最初に歌っていて、楽しい気持ちで聴けた
- ・明日からも立派な看護師になれるよう頑張ります
- ・少し難しい内容でしたが、命に関する広い様々なことを知ることが出来ました。方略、目標、評価や

RUMBA など学習者に求められることから、指導者の取るべき行動 PNP など、いろいろなことを学びました。

- ・ 教育者として教育者と学習者に向けて講義をされる先生の話し方がとても魅力的だった
- ・ 看護学生としても、また、養護教諭コースであるため、教育者としての立場からも寄り良い他者の育て方について学ぶことができた。
- ・ 私たちが何気なく過ごしていることは、自然の中のごく一部であり、私たちは命をいただいて安全に過ごすことができているということに感謝しなければならないと感じた
- ・ 命について、またその命を育むことについて学ぶことが出来た。命がある人生があるということは、教育は付き物だからその教育が大切になってくるんだと思った。就職してからも命の大切さと学ぶことを大切にして頑張りたいと思う。
- ・ いのちを育むためにはまず第一に食事が思いつきがちで確かにそれは当たり前で命を育むために大切なのは確かであるが、そのほかにコミュニケーション、相互性も必要であるということが今回の講座でとても印象に残った。お互いをきちんと認め合って協調し合うことが生きていく(いのちを育む)上でとても重要であることを学ぶことができた。お互いを認め合って協調し合うために栗栖先生は他国へ講座に行ったときは、冒頭と最後には訪問した国の言語で挨拶することをルールとしていることを紹介してくださった。これは、言語は違うかもしれないけど相手のことを理解しようとしている態度として受けてとれると感じた。私は日本人で違う言語の方と会話する時、「ありがとう」や「こんにちは」何でもいいが一言でも自分の国の言語を使ってもらえると嬉しくなる。便利な今の時代、言葉は通じなくても言語を変換してくれるアプリがあったりするが自分の声、表情で一言でも直接伝えることも大切で、そのコミュニケーションが相互尊重に繋がりいのちを育むうえで重要なことだと学ぶことができた。
- ・ 将来を見据えた関わり方の大切さを学ぶことができた。親子の関係だけでなく、上司部下など、様々な場での関係の大切さがわかった。
- ・ 夫婦から家族、種族、村の形成、国のように、どんどん広がり、そのつながりによって、命の尊さや、生きていることへのありがたさを改めて感じる事ができるとわかった。
- ・ 看護学生として生命をどのように考え、どのように関わっていくべきなのかを学ぶことが出来た。残りの学生生活や、就職後の患者さんへの対応について活かしていこうと思う。
- ・ 「いのちを育む」を実践する構成要素として、教育だけでなく食育もあり、その途中から育むが入ってくる事がわかりました。
- ・ 今回の栗栖先生の公開講座をきき、いのちには細胞からその集合体までをいい、さまざまなものがあると言うことを理解することができ、命を育むにはどう言ったことを行うのか、どうすれば命を育むことができるのかを学ぶことができた。また、学習のプロセスについて目標が大切ということ、その目標を決めることでどうなるか、どのような事に役立てることができるのかどのように記載するのかと言うことも学べた。
- ・ いのちを育むためには、教育と食育が心身ともに健康な生活を営むために必要不可欠だということがわかった。
- ・ 公開講座を聴講して、命について改めて考えることが出来た。初めて臨地実習に行かせていただいておりより一層命について学んだ。今後の学生生活でも学習について意識していきたい。
- ・ 人間は評価を通して目標や課題など振り返って知識として学習していくことがわかった。命について



考える事で、自分が自然とのつながりと考え生きていく事が大事ということがわかった。

- ・ 今当たり前前にしていることは当たり前では無いんだと感じた。
- ・ 目標を立てる時には具体的に立てることが大切だとわかりました。
- ・ 成長するには目標を立てて何度も何度も繰り返し修正して行くことで成長することが分かった。
- ・ 学習過程について一夜漬けは学習する上で一時的にしかならず適度にしていくことが本当に大切だとグラフを見て感じとれ自己評価の必要性について学べることができた
- ・ "育み、育てる、育つという多面性があることがわかった。
- ・ 教育を受ける側も行う側もフィードバックが大切だと感じた。価値のある変化ができるように学びたいと思った。
- ・ 歌から始まり、いろいろな国の言葉での挨拶などを交えてお話しをしてくださり印象的な講演だった。
- ・ 学習を支援するためには、ただ否定するのではなく、しっかりとできていたことを褒めることが重要であるということがわかった。
- ・ 今は学生として教えてもらう立場であると思ったが、考えてみると生徒同士での教え合いがより自分の大きな学びに繋がり、看護職者になった時には患者さんに対して教育・指導を行い、患者さんと共に自分自身の成長につながるんだなと思った。
- ・ プロフェッショナルとは、コミュニケーションを土台として、相互尊敬、ネットワーク型での協調であると知ることができた。教育、指導について考える機会となった。
- ・ 普段の自分の行動を見つめ直すいい機会になったように思います
- ・ 生命は、無機物から始まり、細胞、個体、集団への進化などを知り、命について深く考えることができた
- ・ 命を育むことのポイントは、コミュニケーション、プロフェッショナルリズム、人材育成と能力開発であるということがわかった。
- ・ 学生のうちから出来ること、今の自分にしかできないことも知ることが出来た為、今後の生活、看護師になってからの生活に活かしていきたいと思いました。
- ・ 目標を持って行動しようとおもいました。チーム医療をするためにもお互いにフィードバックをしてみんなで成長していこうと思いました。
- ・ 患者を支援する時や教える立場になった時に、今回の公開講座を参考にし、効果的な援助や支援が行えるようにしたいと感じました。
- ・ いのちは、命、生命とも書きコアセルバート、生命の源は、海などといった仮説があることあくまで「人間/ヒト」は自然の一部ということ最低限 PNP が必要で、絶対に行けないのは、NNN ということ、HERO モデルがあることなどがわかりました。
- ・ 目標を定める際の留意点についてや育成の能力は 2 種類あることがわかった。また、キャパシティとタレントの両方が不可欠であることが理解できた。育成には様々な意味があり寺子屋的意義の重要性が分かった。
- ・ 最終目標を立てることの大切さや目標を記載する時の留意点として RUMBA を参考にすること、強く育ち成長していくためには、希望・自己効力感・レジリエンス・楽観性が大切だということがわかりました。1 番印象に残ったのは学びの場が臨床現場そのものということがとても印象的でした。

- ・自分が今まで聞いたことのない理論や、心理学で学んだ理論など様々な理論を織り交ぜながらわかりやすく講義してくださったので命、次世代の育成の大切さがわかった。
- ・教えるとは学ぶことである。という言葉が印象に残っています。私は将来養護教諭という教える立場にある職業を目指しているので、大人になってからも学習を続けなければならないと感じました。
- ・私は NNN で終わることが多いので PNP で終わるように心がけたいと思いました。また、目標を立てるが苦手なので RUMBA を元に目標設定を行いたいと思いました
- ・学習のモチベーションをどうやって保つのか、目標やその評価について学ぶことが出来ました。専門性より広い理解が大事だという言葉に胸に、看護だけではなく幅広くあらゆる方面から学習していこうと思いました。
- ・今回の講義を受けて、知っている知識をできる技能に変えられるように日々の学習に努めていきたいと思いました。
- ・自分の命もちろん大切だとは思いますが、病院に就職すれば、患者さんの命を最も重要にしなければいけないと思いました。
- ・目標達成するために RUNBA が大切だということが分かりました。なので自分も RUNBA を意識して目標を立てようと思いました。
- ・次世代の教育者を育てるため、またそういった素敵な教育を受ける者として PNP の姿勢が大切であると学びました。看護学生である時以外の日常生活の場面でも取り組める事が多いと感じたので、実践してみようと思います。
- ・歌を歌ったり、韓国語、中国語、フランス語などで話す、オヤジギャグ、と言った説明だけでなく変わったことをして聞いて面白く学ぶことが出来ました。
- ・人を頭ごなしに否定することは絶対にやってはいけないこと。様々なことの本質について知れた気がした。
- ・学習者だけでなく教える側の人も一緒に学ぶことを共育というという言葉に聞いてすごい言葉だなと思いい印象に残りました。
- ・基本はコミュニケーションだと学び、コミュニケーション能力をつけたいと思いました。
- ・何事も考えるだけではなく、行動し、アウトプットすることが大切だと学びました。今後の生活の中で意識して行動したいです。
- ・まずはリスペクトをしてゆく事からはじめ、根本的なところから意味をもっと知りたいと思いました。
- ・命のこともそうだし、今私たちが住んでいる県ら町には気づいていないだけで素晴らしい景色、環境、人々がいるのだと実感することが出来た。
- ・聴講するテーマから感じたことは、私は今まで何不自由なく生活できているので、親や周りの人に感謝したいと思いました。体調不良でご迷惑おかけしまして申し訳ございませんでした。
- ・大学で習ったコーチングなどといったことがスライド内で出てきてより理解が深まり、知識を精緻化することができた。
- ・命を育むことには食事と学習が大切で学習とは学習者の価値ある行動に変化がある事だとわかった。
- ・学習をする時には 1 度確かめることが大切なので一夜漬けは効果的ではないということ
- ・怒るとは相手のことをまず否定することで叱るとは、相手にアドバイスをすることでこの 2 つは似ているようで違うものであるということ。

- ・ これまでに築かれてきた生態系のバランスを維持するには、力のあるヒトが生物の命を大切にすること。又、ハグを組むように感謝の気持ちを忘れないようにすることが必要だと感じました。
- ・ "講座の話の中で bug と組むで育むというお話がとても印象に残っている。普段の生活の中で命のことや生きることについて考える時もあるが自分自身の考えと今回の講座の内容とでは違うものが多かったため違う視点からも考えることが出来た
- ・ 命の尊さについて改めて感じた。これから看護職に就く身として命について考え直したい。
- ・ 命を育むと言う言葉の育むにもいろんな意味があり一人一人によって様々な育むと言う言葉の捉え方があることがわかった。
- ・ NPN が 1 番良いため自分が看護師なり指導する際は NNN でなく NPN を意識して指導しようと思った。
- ・ 自らで学んだ学びを 1 人だけのものにせず、社会や地球を救う世代を増やすために共に学び合うことが大切だと知った。(知識を食い散らかさない。)
- ・ PNP といものは、とても大切だなと思いました。ポジティブな言葉を使うことで、相手はまた頑張ろうと思えるし、そのあとに気づきを教えてあげることで成長につながると思いました。今回の授業は、教える立場としてのお話も聞けたのでとても良かったです！
- ・ PDCA サイクルや RUNBA などをまなび、目標設定の仕方を改めて考えていこうと思った。そのためにも、しっかりと自分で行うことができる計画をたて、行動したあとには何が良かったのかどうすればよくなるのかなどの評価をしていくことを心がけていきたいと考える。
- ・ 少し難しい話でも私たちが理解できるように例えを出してくださったのでとてもわかりやすかった。また PNP という言葉を教えてくださったのでこれからの学習に活用していきたいと思いました。
- ・ 人間は必ずいつか死にますが、学習することによってより望ましい状態に変化することができるとお話されていました。今の自分にできることは、看護学生として看護を学び、将来患者さんを支えられるようになることだと感じました。

## まとめ

今回のいのちの講座を通して、生死について、学習する意味を学生が深く考えるきっかけとなっている。今後もその時代に応じ、命と向き合う学生の成長の支援として、公開以降座を実施していく必要がある。